

第 96 回 埼玉県内企業経営動向調査－2016 年 7～9 月期－

調査対象：県内企業 567 社 調査方法：アンケート方式（8月中旬 郵送回収）
 回答企業：260 社（回答率 45.9%） 業種別内訳：製造業 156 社 非製造業 104 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2016 年 5 月 13 日	108.80	16,412.21
(今回)2016 年 8 月 23 日	100.13	16,497.36

概況

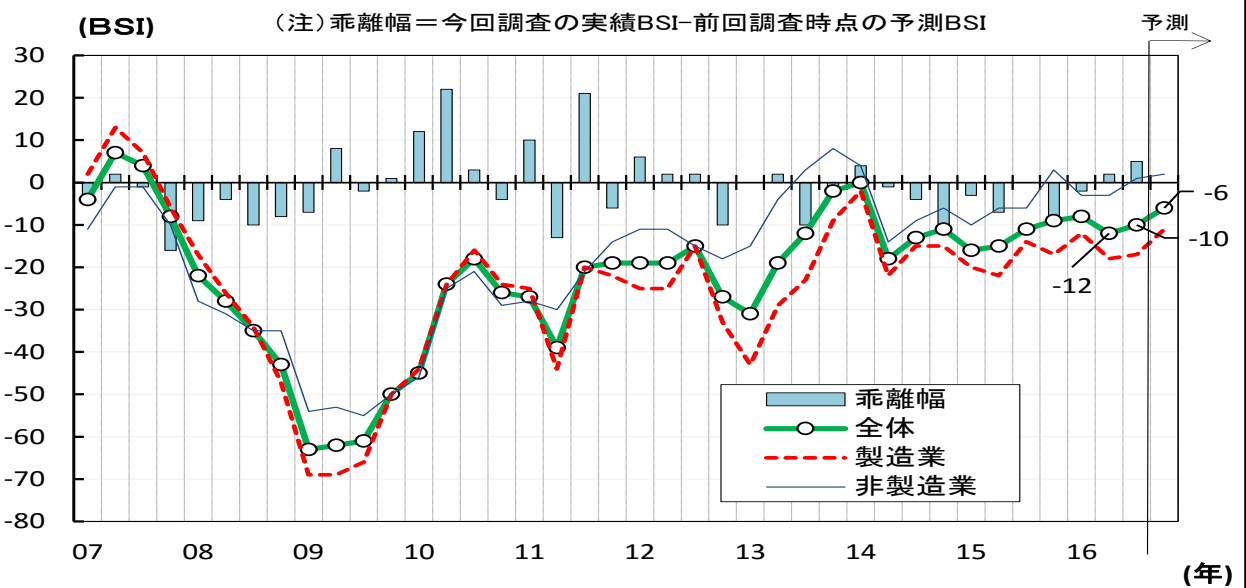
埼玉県内企業の業況感は持ち直しの兆しがうかがわれる。今回（2016 年 7～9 月期）の業況判断 BSI は、-10 と、前回（4～6 月期）比 2 割と僅かながら上昇、前回調査における予測 BSI-15 を上回る結果となっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）は、マイナス幅が拡大し、業況感は後退している。一方、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）は、依然としてマイナス圏内ながら、持ち直している。

業種別にみると、製造業は横ばいとなっている。素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品が低調に推移しているものの、加工組立型業種では、電子部品・デバイスでスマートフォンや自動車部品の生産高が上向き、持ち直している。非製造業は若干持ち直している。住宅建設が住宅ローン金利の低下などから回復し、小売は自動車関連、スーパーなどで持ち直している。

先行き（2016 年 10～12 月期）の予測業況判断 BSI は-6 とマイナス幅が縮小する。業種別にみると、製造業では、素材型業種のうち、紙・加工品等が段ボールで、化学・プラスチック・ゴム製品がプラスチック容器などで、生産高の増加から、それぞれ持ち直す見通しである。また、非製造業では、一般建設が公共投資の増加から持ち直す見通しである。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～持ち直しの兆し～

埼玉県内企業の業況感は持ち直しの兆しがうかがわれる。今回(2016年7～9月期)の業況判断 BSI は、-10 と、前回(4～6月期)比 2 割と僅かながら上昇、前回調査における予測 BSI-15 を上回る結果となっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)は、マイナス幅が拡大し、業況感は後退している。一方、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)は、依然としてマイナス圏内ながら、持ち直している。

業種別にみると、製造業は横ばいとなっている。素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品が低調に推移しているものの、加工組立型業種では、電子部品・デバイスでスマートフォンや自動車部品の生産高が上向き、持ち直している。非製造業は若干持ち直している。住宅建設が住宅ローン金利の低下などから回復し、小売は自動車関連、スーパーなどで持ち直している。

図表 2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2015年				2016年				2016年 10～12月 (先行き)
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	前回予想	
全体	-16	-15	-11	-9	-8	-12	-10	-15	-6
100人未満	-19	-20	-15	-14	-17	-13	-19	-15	-7
100人以上	-13	-11	-6	-3	1	-11	-1	-16	-5
製造業	-20	-22	-14	-17	-12	-18	-17	-20	-11
100人未満	-26	-29	-15	-22	-18	-22	-24	-19	-8
100人以上	-13	-15	-13	-12	-5	-14	-9	-22	-14
素材型	-17	-27	-23	-23	-30	-27	-33	-17	-14
紙加工品等	-9	-33	-8	-8	-25	-8	-17	-17	8
化学・プラスチック・ゴム製品	-31	-17	-17	-18	-36	0	-9	-8	0
鉄鋼・非鉄金属	-14	-38	-38	-42	-42	-43	-42	-21	-33
金属製品	-17	-31	0	-33	-33	-42	-50	-8	-33
その他素材型	-14	-18	-42	-15	-15	-38	-44	-31	-13
加工組立型	-14	-18	-6	-19	-3	-23	-8	-24	-10
一般機械器具	-15	-16	-15	-11	-12	-6	-7	-24	-14
電気・情報通信機械器具	-20	-33	-7	-18	-14	-33	-17	-25	-8
電子部品・デバイス	-8	-8	29	-25	-8	-50	8	-33	0
輸送用機械	-46	-31	-36	-50	8	-29	-18	-29	-27
精密機械	15	0	0	0	15	0	-8	-9	0
生活関連型	-33	-22	-12	14	4	13	5	-17	-10
飲・食料品	-17	-18	21	36	17	42	25	8	0
印刷・同関連業	-50	-25	-50	-10	-8	-17	-22	-42	-22
その他製造業	-50	-14	-14	-50	0	0	-17	-25	0
非製造業	-10	-6	-6	3	-3	-3	1	-8	2
100人未満	-8	-7	-15	-4	-15	2	-9	-8	-4
100人以上	-11	-5	4	10	8	-7	9	-9	7
一般建設	16	16	0	30	15	5	0	-11	11
住宅建設	-8	-23	-33	-17	8	-8	18	-8	18
卸売	-36	-22	-6	0	-31	12	-8	-6	0
小売	-26	-21	-19	-4	-5	-22	5	-28	0
運輸・倉庫	-17	8	8	20	8	-18	0	-18	9
不動産	0	9	8	0	-29	8	-33	-8	-44
その他非製造業	0	0	0	-12	11	0	12	14	6

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラスに転化～

製造業では、素材型の紙加工品等、金属製品、加工組立型の電気機械器具・情報通信機械器具、輸送用機械などがマイナスとなっている。一方、非製造業は、住宅建設、小売などがプラスに転じている。先行きは、製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型がともにプラスに転じる見通しとなっている。非製造業では、一般建設、卸売がプラスに転じる見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 16年1～3月	(前回調査) 16年4～6月期	(今回調査) 16年7～9月期	(先行き) 16年10～12月
全体	1	-9	-3	15
製造業	-7	-7	-10	13
非製造業	14	-11	8	17
規模の小さい企業	-6	-10	-12	17
規模の大きい企業	10	-7	7	12

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラスに転化～

製造業では、素材型の紙加工品等、加工組立型の電気機械器具・情報通信機械器具、電子部品・デバイスなどがマイナスとなっている。一方、非製造業では、住宅建設、小売などがプラスに転じている。先行きは、製造業では、素材型、生活関連型がプラスに転じる見通しとなっている。非製造業では、一般建設、卸売がプラスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 16年1～3月	(前回調査) 16年4～6月期	(今回調査) 16年7～9月期	(先行き) 16年10～12月
全体	1	-13	-5	8
製造業	-6	-17	-12	8
非製造業	11	-8	6	7
規模の小さい企業	-4	-16	-14	9
規模の大きい企業	7	-9	4	6

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で持ち直し～

製造業では、化学・プラスチック・ゴム製品、電子部品・デバイスなどでプラスに転じている。先行きは、製造業では、素材型で弱含むものの、総じてみればほぼ横ばいの見通しとなっている。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 16年1～3月	(前回調査) 16年4～6月期	(今回調査) 16年7～9月期	(先行き) 16年10～12月
全体	2	-6	-1	-2
製造業	3	-8	-2	-3
非製造業	2	0	2	0
規模の小さい企業	4	-11	-1	-8
規模の大きい企業	0	0	0	4

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業でほぼ適正～

製造業は、素材型が過剰である一方、加工組立型で不足となっている。非製造業は、その他非製造業で不足感がみられるものの、総じて適正となっている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 16年1～3月	(前回調査) 16年4～6月期	(今回調査) 16年7～9月期	(先行き) 16年10～12月
全体	-6	0	1	-3
製造業	-2	3	2	-1
非製造業	-11	-3	-1	-7
規模の小さい企業	-7	5	4	-4
規模の大きい企業	-6	-5	-3	-3

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強い～

製造業では生活関連型の飲・食料品で不足感が強まっている。非製造業ではすべての業種で不足感がみられるなか、卸売、小売などで不足感が強まっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 16年1～3月	(前回調査) 16年4～6月期	(今回調査) 16年7～9月期	(先行き) 16年10～12月
全体	-24	-17	-23	-26
製造業	-9	-2	-7	-10
非製造業	-43	-36	-46	-49
規模の小さい企業	-22	-6	-19	-26
規模の大きい企業	-26	-29	-27	-26

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～ほぼ横ばい～

製造業の一般機械器具などで厳しさがみられるが、苦しさは総じて緩和されている状況にある。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 16年1～3月	(前回調査) 16年4～6月期	(今回調査) 16年7～9月期	(先行き) 16年10～12月
全体	7	7	6	5
製造業	4	2	4	4
非製造業	12	12	10	7
規模の小さい企業	-2	-4	-1	-2
規模の大きい企業	17	19	14	12

(以上)